横浜天声キリスト教会　週報　第16巻31号(No.599)　2021年8月1日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　ヘブル11:11-12 ・・・・・・御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・9番　聖なる、聖なる、聖なるかな
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・・51番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・・174番　神の息よ
礼拝のための祈り　・・・・・・・成田エクレシア:浪川執事　天声:小林伝道師
聖餐式　・・・・・・・・・・・・・・・・・281番　しみもとがも
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・・信じきれない時は、主に話せ(創世記15:1-6)
御言葉を適用する祈り　・・　会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・・　484番　こころにもだえあらば
献金感謝の祈り　・・・・・・・・　パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・・
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・　会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・・パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5)
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ10:10)
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ10:10)
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

そして主は____を外に連れ出して言われた、「天を仰いで、星を数えることができるなら、数えてみなさい」。また____に言われた、「____の子孫はあのようになるでしょう」。____は主を信じた。主はこれを____の義と認められた。(創世記15:5-6)
「あなたの指をここにつけて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしの脇に差し入れなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい。」 ____は答えてイエスに言った。「____の主。____の神。」イエスは____に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」(ヨハネ20:27-29)
信仰とは、望んでいる事がらを確信し、まだ見ていない事実を確認することである。信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますことと、ご自分を求める____に報いて下さることとを、必ず信じるはずだからである。(ヘブル11:1-6)

メッセージ概要

私達は時に、主が下さった約束の御言葉と、現実とを見比べる時、あまりにもギャップがありすぎて、信じ切れない事がある。そんな時、うやむやに放置していないだろうか？　皆の前では「アーメン信じます！」と言うのに、心の中では溜息をついて、「何をおっしゃいますやら」と笑う。という事を、していないだろうか？主は、サラが心で笑った事を見抜いておられたように、私達の心を見抜いておられる。そういう時は、何事も、主に打ち明けたほうがいい。主が「わたしに何をして欲しいのか」と尋ねられるのは、私達が口で主に告白する事を望んでおられるからだ。ギデオンも、トマスも、しるしを求めたが、主はそれを、不遜な信仰とは言われなかった。しるしが確認されたなら、実行する信仰があるなら、主はちゃんとしるしを与えて下さる。不遜な者とは、しるしだけ求めて、いざしるしが与えられたとしても、信じない・実行しない者の事である。

アブラハムはその点、正直だった。主がアブラハムに「恐れてはならない」「あなたの受ける報いは非常に大きい」と言われた時、正直に告白した。あなたは私の子孫を、地のちりのようにする、とおっしゃいましたが、信じ切れません。私にはまだ、子がありません。何を私にお与えになるのですか、と。(1-3節)
私達も、主の約束が信じ切れない時、正直に告白すべきだ。あなたは約束を下さいました。でも自分は、あの人は、目の前の現実は、とても変わるとは思えません、と。主は私達が信じられるよう、手配して下さる。
主は、そのような告白したアブラハムを外に連れ出し、数え切れない程の星を見せて言った。あなたの子孫はこのようになる、と。アブラハムはそれを「信じた(アーマン)」。そして主は、それを義とされた。(4-6節)
聖書最初の「信じた(アーマン)」。このアーマンから、「アーメン」が出た。アーメンこそ、義人の基本である。しかし「肝心な時間」は、そこから開始される。アブラハムが星空を見上げたその瞬間、彼は確かに主の約束を信じた。しかし、主と別れて後、主の臨在が無い膨大な日常、現実の時間が始まった時、その最中でも、主の約束への信仰を埋もれさせずに、いかに保ち続けるか。そこが、義人であるかどうかの分かれ道だ。

義人とは、「信じ続ける」人の事である。ローマ1章17節を、時制や態も含めて訳すなら、信仰は所有した時に開始し、信仰を所有した状態で、信仰の目的地へ目指して歩み続けている人が、義人なのである。
つまり、イエス様を(御言葉を)信じた瞬間は、ゴールではなく、スタートであり、信仰を、イエス様を、所有し続けながら、信仰の目的地・天国へと向かって歩み続けている「状態」にある人が、「義人状態」なのだ。
アブラハムは、信仰の完成まで、信じ続ける事をキープした。途中、信仰が折れそうになった時は、不信仰にさせる「ネタ」から、敢えて目を逸らし、真実の言葉だけを思い巡らし、その内容の通りに実行し続けた。
現実から目を逸らして、空想にふけるのは、良くない、というのは皆知っているが、**「真実」から目を逸らして「現実」にふけるのも、同じくらいに良くない**。アブラハムは、心をブレさせないために、真実を見続けた。老いぼれてしまって、子をもうける機能を、とうの昔に失ってしまった自分や妻を見る都度、あの星空の晩、主が示して下さった真実を思い巡らし、「アーメン」し続けたのだ。それが、彼の義となったのだ。

私達は、天を見ずに地上を、すなわち、隣を見ると、問題が起きてしまう。主はアブラハムに「*目を上げて、あなたがいる所から北と南、東と西を見渡しなさい*」と言った(13:14)。水平方向を見ず、隣や人の現実を見ず、目を上げて、主が示して下さった東西南北を見なさい、と。さらに『立って、*その地を縦と横に歩き回りなさい*。』(13:17)　と言われた。縦と横を歩くとは、主が見せてくださったものを見ながら、歩く事である！
ボールが投げられて来たら、バットで打ち返すごとく、現実というボールや嫌な思いというボール、恐れ不安というボールが、投げられて来る都度、真理の御言葉というバットで打ち返す事を、日々の旨とするのだ。

地上の現実を見る都度、天を見上げ、真実を思い出し、アーメンする力。それが「義人力」である。
だから、約束の御言葉を「思い出してはアーメン」する事を続けるべきなのだ。「現実」が「真実」に飲み込まれるまで、すなわち、死がいのちに飲み込まれるまで。見てはアーメンし、見てはアーメンする内に、現実の世界に、驚くべき事が起きる。アブラハムのアーメンの力をいただいて、「信じられる」という確信が、増えていき、妨げなしの真実を、現実の世界へと降りて来させ、腹の底からの真の笑い(イサク)を獲得する皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝　賛美 10:30　礼拝 11:00

食事/フェローシップ　12:30～

English Service　14:00～

※月に一度、成田出張礼拝のためお休みします。
詳しくはお問い合わせ下さい。

日々の集会

月～金　早天祈祷会　5:00～

火・木・金　賛美と祈りの集会 13:00～

火～木　夜の祈祷会　19:30～

水曜礼拝

1 部　13:00～

2 部　19:30～

金曜祈祷会　19:30～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております　→　youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージをメールでお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 16 巻 31 号　2021 年 8 月 1 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@yahoo.co.jp

YouTube